

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 96 号

発行日 令和 6 年 1 月 31 日

発行人 山 岸 渡

TEL・FAX 026-244-5165



心豊かに安心して住める浅川に



浅川地区住民自治協議会 会長 山 岸 渡

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、地区の皆様、如何お過ごしでしょうか。

国内では新型コロナウイルスがワクチン接種、うがい・手洗いの励行、マスク着用等の対策により、感染発生は著しく減少してきましたが、完全に消滅したわけではありません。引き続き感染予防に努めていきましょう。

政治・経済面では、今、多くの国民が食料品をはじめ、ガソリン・灯油等生活に密着した物価高に苦しんでおります。今後少しでも日常生活の不安が払拭されることを願います。

国外では、ロシアとウクライナの戦争は終息の光が見えておりません。加えて昨年はイスラエルとパレスチナ・ハマスの間に紛争が起こりました。いつになったら収まるのでしょうか。

浅川地区では今年度も色々な事業やイベントが催されました。特に印象に残ったものについて記してみます。

1. 「地球まんまる “おらほの自慢” 聞いとくらい」で浅川の “イチオシ事業” を発表

10月24日長野市民協働サポートセンターが主催で、市内32地区の住民自治協議会から16地区が参加し、各地区の「自慢」の発表がありました。浅川地区からは「浅川ダムを中心とした交流の場づくり」として、浅川ダム祭り、鯉のぼり掲揚、ブランド薬師整備、ワイン用ぶどうの収穫支援等、様々な活動の報告を行いました。

2. 浅川地区市民運動会 ～4年ぶりの開催～

残暑厳しい中、各競技に大勢の皆さんが参加して下さり、各地区の応援合戦も賑やかに、たくさん笑顔が溢れました。

3. 社会福祉協議会「ふれあい会食会」の実施

おひとり暮らしの高齢者をお招きして、年2回開催され、夏は浅川小3年生、秋はかざぐるま保育園の皆さんと一緒に楽しい交流ができました。

以上、3つの事業のほかにも様々な活動がありました。コロナ禍で停滞していた事業も少しずつ行われるようになり、浅川地区にも元気が戻ってきた感じです。しかし反面、少子高齢化、各役員の担い手不足等様々な課題があります。行政との絡みもあり、地区内だけでは解決できないこともあります。何か前進できるきっかけを見つけたいと思います。

心豊かに安心して住める浅川にするには、隣近所のふれあいとコミュニケーションだと思います。引き続きのご支援とご協力をお願いし、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



【満水の浅川ダム(H27/1/3)】

浅川西条で第7回「なかよし交流会」開かれる！～保護司会～

11月23日（木）西条団地集会所で浅川地区保護司会主催の「なかよし交流会」が開かれました。子供からお年寄りまで地域住民の絆を深め合う場として浅川地区保護司会が企画し開催してきた「なかよし交流会」は今年で7回目となります。

“みんなでほっこりお楽しみ会”と銘打って「地域の人みんなで美味しいものを食べたり素敵な物を作って交流を深めませんか」と呼びかけました。参加者は振る舞われた豚汁に舌鼓を打ち、「スワッグ（ドイツ語で“壁飾り”の意味）」、「水引き作り」、「デコかわホイッスル」、「キャンディレイ」などを作って楽しい一日を過ごしました。



【会場風景～豚汁に舌鼓み】



【スワッグ作り】



【備蓄クッキング・しおり】



【デコかわホイッスル作り】



【キャンディレイ作り】



【水引作り】

“あさかわ花❀花隊”「ながの花と緑大賞2023」連続受賞！！



みんなで育てた花壇
支所・公民館の入口
を彩ります！



春と秋には「花
の苗交換会」も
開きました。

市民の緑化活動や公園・街路樹愛護活動を表彰する「ながの花と緑大賞2023」の「公共緑化の部」で浅川の園芸ボランティアグループの“あさかわ花❀花隊”（代表：岡田哲子さん）がコミュニケーション賞を受賞しました。一昨年の大賞、昨年の優秀賞に続いた受賞となりました。

“あさかわ花❀花隊”は浅川支所の構内の花壇の植栽を行っているボランティア団体です。花❀花隊では「花が大好き・これから花を育ててみたいという仲間が集まり、『元気で明るい浅川』を目指して活動しています。季節毎の花々を楽しみに集う場、癒しの空間になるように楽しく活動しています。」

と、活動に協力していただける会員を募集しています。みなさんふるってご参加ください。

（問い合わせ先：浅川支所・野口 ☎ 263-3365）

坂中直売所が今年の最終日、大勢のお客さんで賑わいました！

11月26日（日）、7月から毎週日曜日に坂中区のみなさんが開いてきた農産物直売所が今年最終日を迎えました。野沢菜、大根、長芋、坂中産大豆で作った味噌などが並び、7時には駐車場が満車になるほど大勢の来訪者で賑わいました。直売の最後には抽選会も行われました。

今年で20年目の直売所。高齢化の中で大変なご苦勞で直売所を続けている地区・会員のみなさんに敬意を表します。



【朝7時には駐車場が満車になるほど賑わいました！】



【ストーブを囲んでなめこ汁に舌鼓み】



【最後には空くじなしの抽選会も開催】

浅川小学校、浅川支所・公民館の「長寿命化」工事が行われています！

市民への行政サービスの持続的な提供を目的にした長野市公共施設マネジメントにおける学校施設長寿命化計画に基づいて、9月中旬から浅川小学校の改修工事が始まりました。

この工事では老朽化が進む学校施設を適切に改修することでできるだけ長く既存の施設を活用（＝長寿命化）するとともに、施設配置や規模の適正化を図ることを目的にしています。

工事は先ず校庭にプレハブの仮校舎を建設（令和5年9月～12月）、北校舎改修（令和6年2月～12月）、南校舎改修（令和6年2月～12月）の順で行われ、校舎工事期間は仮設校舎での授業になるとのことです。校舎の耐久化やバリアフリー化等、改修により子ども達の教育環境の向上に繋がることを期待します。

また浅川支所・公民館の改修工事も8月から行われ、11月末に完了しました。



【9月中旬建設が始まり、11月には仮校舎が姿を現しました。】



【浅川支所・公民館の改修工事も一足早く8月から行われました。】



乗合タクシー「あさかわ号」の車体表示が新しくなりました！

昨年バス停を新しくした乗合タクシー「あさかわ号」。

今回車体の表示がバス停と同じ“真っ赤なりんごにゴマシジミとアサギマダラが舞う鮮やかなデザイン”のシールに変更されました。従来のブルーから鮮やかな赤に装いを新たに地区内を走る「あさかわ号」がみなさんの眼に止まることでしょう。

「あさかわ号」が地域に愛されひとりでも多くの区民に利用され今後も継続されていくことを期待しています。



【新しい「あさかわ号」と「バス停」】

年末恒例のしめ縄づくり講習会が行われる

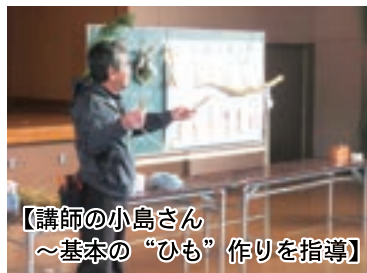
12月17日（日）恒例の「しめ縄づくり（公民館冬季学級）」が行われました。

講師には小島高志前公民館長を中心に斎藤可雄さん（屋敷田）、畠山正一さん（神楽橋）の熱心な指導の下で、30名余のみなさんが藁と格闘しました。

イスラエルとハマスの戦闘によるパレスチナの悲惨な状況、ウクライナとロシアとの戦争の長期化など、世界情勢が一層の混乱と分断が強まる一年でしたが、みな新しい年が平安であることを祈りながら真剣な表情で注連飾りを作っていました。

あらためて来る年が良い年でありますように！

（教育文化部会・地区公民館連合会）



【講師の小島さん
～基本の“ひも”作りを指導】



【みなさん懸命にワラと
格闘しました！】

長野市7公民館（9地区）合同成人式行われる

1月7日（日）長野市芸術館において7公民館実行委員会（中部（第三・第四・第五地区）・芹田・古牧・三輪・浅川・若槻・小田切の各公民館）主催で“二十歳の門出を祝う成人式”が行われ、新成人711名（男352名、女359名）が参加、浅川地区からは対象者51名（男24名、女27名）のうち38名（男16名、女22名）が出席しました。

三登山太鼓（若槻地区）で始まり、浅川地公連の田中秀実会長の開式のことばのあと、1日に発生した能登半島地震で亡くなった方々への黙祷が行われました。続いて新成人を代表して第三地区の宮本佳奈さん、三輪地区の大井飛翔さんが“誓いのことば”を述べました。

（教育文化部会・地区公民館連合会）



【会場前風景】



【三登山太鼓（若槻）で開会】



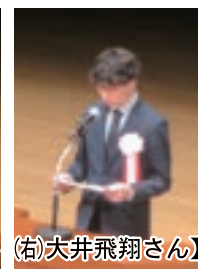
【開式のことば】



【能登半島地震犠牲者に全員で黙祷】



【誓いのことば
（左）宮本佳奈さん



（右）大井飛翔さん】

平坦部役員がブランド薬師に登る～八槲神社保存会～

昨年役員数を増やし再編した八槲神社保存会は、新たに加わった平坦部の役員に八槲神社への理解を深めてもらおうと、11月17日（金）ブランド薬師に登りました。中には小学校の遠足以来だという役員もあり、宮澤重徳保存会長から説明を受け、改めて市指定文化財としての保存の重要性を確認した様子でした。



【参道を登り、参道整備の状況や社殿の現状を視察しました。】



浅川にワインの風を！～初めてのワイン完成・感謝！！～

【地域おこしの現場から vol. 9】

2018年10月、浅川地区へ地域おこし協力隊員として着任し、浅川ダムに残土置き場を開墾して葡萄栽培を始めて6年。昨年ようやく初収穫を迎えたブドウが浅川ダムの下で熟成をし、今年初めてワインができました。

これまで浅川地区の多くのみなさんのご理解ご支援に支えられ、ここまで辿りつけたこと、言葉には言い表せないほど感謝の念でいっぱいです。2023.12 浅川葡萄農園 宋 裕光（伺去）

【浅川ワインへのこだわり】

ブドウ栽培は出来る限り減農薬に努め、醸造には野生酵母による発酵、フランス産オーク樽での発酵・熟成、さらに無濾過・無清澄・無補酸・酸化防止剤無添加という現在一般的に行われている近代的醸造とは全く逆の古典的で自然な方法で造った飲み口の優しい白ワインに仕上がりました。



生産者：浅川葡萄農園
収穫年：2022年（令和4年）
タイプ：白ワイン
品 種：8品種混醸
内容量：750ml
アルコール度数：10.5%



浅川ダム内で熟成

おかげさまで
今年のワインは
完売いたしました！！

【浅川にワイナリー誕生を！応援サポーターも大募集！！】

ワイナリー開業をサポート、応援して下さい方を募集いたします。

☆応援サポートプランは3種類

- ① 1万円コース「応援」：（特典）毎年自社ワイン1本×3年間
 - ② 3万円コース「見守」：（特典）自社ワイン・シードル30,000円分を3年間に分けて
 - ③ 5万円コース「協力」：（特典）自社ワイン・シードル50,000円分を5年間に分けて
- <お申し込み・お問い合わせは下記までご連絡をお願い致します>

☎（SMS）宋 裕光 090-4079-0714 メール：sou.asakawa@gmail.com LINE：長野市浅川葡萄農園

【長野市浅川葡萄農園のこれまでの歩み】



【2018年家族で移住】



【2018年5月植付】



【2019年5月定植】



【2020年7月芽かき】



【2021年冬を越え】



【2021年9月成長】



【2022年10月実り】



【2022年10月15日みなさんの協力で初めての収穫・選別】



浅川の令和5年を振り返って



浅川支所長 峯村 八郎

令和5年は、新型コロナウイルスが5類に移行し、社会生活や経済活動が徐々にコロナ前の状況に戻っていくのが感じられる一年でした。食事を伴う地区行事なども再開されて、まちに少し以前の賑わいが戻ってきたこの一年を振り返ってみましょう。

浅川地区防災訓練を実施しました

9月30日（土）、震度6強の地震発生 of 想定の下、各区長から災害対策本部（情報班）への情報伝達訓練を行いながら浅川支所に参集しました。消防団浅川分団による放水訓練の後、消火器、消火栓の取り扱い訓練、救急救命・AED操作訓練を交代しながら実施。併せて赤十字奉仕団を中心に炊き出し訓練が行われました。災害はいつ起こるか分かりません。日頃の備えの重要性を再認識させられた一日となりました。



ゆうわ祭が開催されました

11月5日（日）、今年は、屋外会場では昨年コロナ禍で見合わせていた飲食を伴う出店が再開され、焼きそば・燻製・魚の串焼きの販売が行われました。そのほか、野菜、くだもののほか、自家製うどん・ラーメンなども販売され、福祉バザー、フリーマーケットなどが出店し、賑わいを見せていました。屋内では、8団体によるステージ発表が行われたほか、展示コーナーでは、写真、絵画、陶芸、手まりなど多くの力作が揃いました。



浅川産ワイン用ブドウの収穫が行われました

10月1日（日）、元地域おこし協力隊員、宋さんの圃場にボランティア総勢80人余りが集結し、ワイン用ブドウの収穫が行われました。宋さんからの説明を受けて、ブドウの摘み取りと選別作業に当たり、昨年の約1.5倍に当たる約1,100kgもの収穫量を得ることができました。このブドウは赤ワイン用・白ワイン用複数種があり、小諸市と東御市の醸造所へ運ばれ、熟成を経て、1年後の秋には販売されることになります。宋さんは、自前での醸造に向けた準備も進めておられ、名実とも「浅川産ワイン」が登場することが期待されます。



4年ぶりに浅川地区市民運動会が開催されました

9月3日（日）、午前中に終了するように配慮された競技日程で、4年ぶりの市民運動会が開催されました。小学生児童100m競争、ゲートボールリレー、イス取りゲーム、玉入れなどの競技が行われ、各地区からは熱い声援が送られていました。猛暑の中での開催となりましたが、参加した12地区の皆さんの楽しそうな笑顔が印象的でした。



共に生きる



ひとり暮らし高齢者のつどい



浅川地区ではサロン事業の一環としてひとり暮らしの高齢の方を対象とした日帰り旅行を実施しています。今年度は34名が参加し、11月17日に中野市・高野辰之記念館と飯山市・高橋まゆみ人形館を訪れました。

高野辰之記念館ではゆかりの足踏みオルガンも展示されている音楽室で同行の民生委員さんのピアノ伴奏で「春の小川」「ふるさと」などを合唱して楽しみました。また、高橋まゆみ人形館では昔懐かしい風景が思い出される作品のほか、制作の過程を紹介する映像を大変興味深く鑑賞していらっしゃいました。

コロナ禍でしばらくの間は事業中止や半日旅行でしたが、4年ぶりに皆さんと食事をすることもできました。

ご参加くださった皆さん、民生委員さんをはじめ実施にご協力くださった役員さん、ありがとうございました。



【みんなで楽しく歌いました】



【生涯を振り返る展示を見学】

地域福祉ネットワーク会議

地域福祉ネットワーク会議は第三次浅川地区地域福祉活動計画の進捗確認や地区内の福祉関係団体および関係機関との意見交換の場として年1回実施しています。

現在の計画は令和3年度～令和7年度となっており、令和6年度に第四次計画の策定準備会議・令和7年度に策定本会議が計画されていますので、今回のネットワーク会議も準備会議につながる意見交換を行いました。

コロナ禍で実施が困難になっていた交流・集いの場の創出はこの地域に暮らす皆さんの日常生活の直接的・間接的な助けになると考えられます。

第四次計画の策定に向け、次年度からは「地域福祉懇談会」で皆さんのご意見も広く伺っていく予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



地域たすけあい事業

家事援助協力会員さん大募集！

「地域たすけあい事業」では地域の皆さんが有償で、ご近所の方の家事や病院への送迎をお手伝いしています。

現在、家事援助協力会員さんを大募集しています。浅川地区内の利用会員宅に伺い、掃除や洗濯など身の回りの家事に関するお手伝いをします。活動は基本的に2人体制で1時間。身体介助は行いません。

資格は不要！身近な地域で気軽にできる支え合い活動です。



詳しくは たすけあい事業コーディネーター・野口 ☎263-3365 まで

令和5年度 各種募金活動の集約結果

～みなさんの善意と
ご協力に感謝します！～

赤い羽根共同募金

1,368,589 円（昨年度1,398,611円）
（個人募金：1,200,089円、法人：168,500円）

※目標超過額は社会福祉事業のため地区に配分されます。

日赤活動資金 ・ 寄付金募金

※日本赤十字社で災害救護や講習会などの活動資金として活用されます。住民自治協議会に配分される事業費は地域福祉向上のため有効活用されています。

951,388 円（昨年度1,009,720円）

緑の募金

※募金総額の15%が募金活動費として住民自治協議会に交付されます。

191,787 円（昨年度 189,322円）

広報委員から

年末に入り図らずもコロナに感染してしまい12月の広報委員会を中止にせざるを得なくなり、広報委員の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けしましたことお詫び申し上げます。新年は良い年でありますようにと祈りながら歳を越しました。

ところが元旦の夕方4時10分、能登半島を震源とする震度7の地震が発生、被災地では未だ被害の全容が明らかではなく懸命な救助活動が行われています。加えて2日には羽田空港において被災地に支援物資を運ぼうと待機していた海保機と日航機の衝突という事故が発生するなど、不穏・不安な新年の幕開けとなってしまいました。

私達を取り巻く世の中にも内憂外患が絶えない状況の中で、改めて一刻も早く“あたり前の日常”が戻ることを祈りたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

広報委員会 小川 和 夫（事務局）